

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行；中津市議会議員 大塚正俊 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
URL (ホームページ) <http://www.m-ohtsuka.com/>



“より速く、より高く、より強く、共に (together)”

9月5日、東京パラリンピックが終わりました。東京オリンピックは8月8日に終了。

コロナ禍のもとでの開催には大きな疑問も持たれました。特に、政府は緊急事態宣言を行いつつオリンピックを開催したので人々の気が緩み、新型コロナウイルス感染者の増大につながったという見方は多数です。

とはいえ、オリンピック、パラリンピックに参加した選手達は、私たちに沢山の感動を与えてくれました。

特に、障害を感じさせず、信じられない態勢で躍動する選手たちを見ると、改めてパラアスリートの皆さんへの尊敬の念を抱かずにはいられません。また、アスリートの競技を支える同伴者や介助者、そして支援者や企業の存在の重要さにも気づかされました。

今回のオリンピックが、アスリートだけでなくすべての障がい者に対する理解を深め、今後の共生社会の実現につながって行くことを願っています。



五輪のモットーに「共に」が加わる

■令和3年第3回(9月)定例議会で決まったこと。【抜粋】

9月議会は、8月31日から9月29日の30日間開催されました。

令和3年度一般会計補正予算等の予算議案8件、令和2年度一般会計決算等の認定議案12件、条例議案6件、報告5件、その他議案2件、請願1件、意見書3件、決議1件の計38件が上程され、請願1件、意見書2件、決議1件の議案を否決し、その他の議案等は原案どおり可決しました。なお、令和2年度一般会計決算等の認定議案12件は継続審査とし、12月議会で採決されます。

1. 令和3年度一般会計補正予算(第4・5号)；補正額9億4,395万円

(補正後予算額433億668万円)

□リサイクル推進事業；137万円

- ・生ごみキエーロ製作委託料の増額(100台⇒150台)、生ごみコンポスト化容器購入費補助金の増額

□防災管理事業；506万円

- ・大分県の高潮浸水想定区域の指定に伴い、中津市版の高潮ハザードマップを作成



生ごみキエーロ

- 農地維持事業；975万円
 - ・防災重点ため池のハザードマップ作成箇所数の増加に伴う増額（35ヶ所→65ヶ所）
 - ・市内134ヶ所を 令和3年度中に作成完了予定
- 水産業振興事業（新型コロナウイルス対策関連）；800万円
 - ・新型コロナウイルス感染拡大により収入が減収している漁業関係者の漁業操業燃料代を支援
 - ・漁協組合員に燃料購入費の50%を補助
 - ・対象期間 令和3年10月～令和4年3月分
- 観光宣伝活動事業（新型コロナウイルス対策関連）；420万円
 - ・アフターコロナを見据えた”新たな旅のカタチ”を令和4年度以降に商品化するため、ターゲットを絞ったモニターツアーを企画・実施・実証する観光協会への補助金
- がんばる中小企業者等緊急応援金（新型コロナウイルス対策関連）；2億2,289万円
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営状況となっている市内中小企業者等の事業継続を支援
 - ・補助対象者：令和3年8・9月の売上合計が、前年又は前々同月比で20%以上減少した中小企業者等（約1,700事業所）
 - ・補助金額：法人 20万円（上限）、個人 10万円（上限）
- 安心はおいしいプラス認証奨励金事業（新型コロナウイルス対策関連）；1,250万円
 - ・感染防止対策を行い、大分県「安心はおいしいプラス」の認証を受けた飲食店を支援
 - ・奨励金額：5万円／店舗
 - ・対象事業者数：250事業所
- 道路災害復旧事業（台風9号・8月豪雨関連）；6,190万円
 - ・復旧工事（三光：八面山線、耶馬溪：山浦線）、土砂等撤去、路面洗堀等による修繕等37件
- 農地及び農業用施設災害復旧事業(台風9号・8月豪雨関連)；3,230万円
 - ・復旧工事（本耶馬溪2件、山国1件）、土砂等撤去・水路崩壊による修繕、農地災害復旧工事補助金等63件
- 河川堤防災害復旧事業（台風9号関連・8月豪雨関連）；3,870万円
 - ・復旧工事（山国・毛谷村川）、土砂等撤去、護岸・石積崩壊による修繕等36件
- 体育施設災害復旧事業（8月豪雨関連）；2億500万円
 - ・三光総合運動公園陸上競技場トラック改修工事



小祝漁港の漁船



閑散とした日の出町商店街



農地災害（本耶馬溪町今行）



陸上競技場の浮上ったトラック

2. 条例の改正（抜粋）

- 中津市職員定数条例の一部改正
 - ・中津市民病院の職員定数を「390人」から「410人」に変更
 - ・医療体制を強化するため、薬剤師・理学療法士等の医療職員を増員する。

□中津市民病院及び小児救急センター使用料及び手数料条例の一部改正

- ・分娩料を4,000円引き下げ。診療時間内分娩の場合「146,000円」⇒「142,000円」

3. 中津市過疎地域持続的発展計画書の策定について

- ・「それぞれの地域の特性に配慮したきめ細やかな対応や地域間連携をより高める施策を展開することで、市域全体の一体的な振興を図る」としています。

4. 請願

- ・コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策の意見書提出を求める請願【不採択】
※私たちの会派は賛成

5. 決議

- ・新型コロナの感染急拡大を抑えるために中津市でも抗原検査センター設置を求める決議【否決】
※私は、以下の理由で決議に反対しました。



市内では、すでに濃厚接触者に対する検査体制は整備されており、風邪やコロナ特有の症状があった場合には病院で受け入れが可能な体制も出来上がっています。無症状で感染が心配な方は、宇佐市の抗原検査センターを利用することをお勧めします。現在、市は応分の負担について宇佐市と協議しています。

また、市では濃厚接触者とならなかった関係者に対して、抗原検査キットを配付する体制の構築を進めており、現段階で市内に検査センターを設置する必要性は低いと考えます。

6. 意見書

- ・コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書【可決】
- ・新型コロナウイルス感染症対策に対し、緊急事態宣言の発出等、蔓延防止対策を求める意見書【否決】
- ・大分県主要農作物等種子条例制定を求める意見書【否決】
※私たちの会派で提出した2件の意見書は否決されました。



議長に種子条例の署名を提出

9月議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 市民の命と財産を守るために為すべきこと

- ①浸水想定区域内にも避難所の設置を
- ②広域避難ルートの確保を
- ③避難行動要支援者の命を守るために
- ④命と財産を守るための建築制限

2. 蛸瀬地域の準工業地域の土地利用の促進に向けて

- ①蛸瀬地域を準工業地域に指定した理由
- ②（都）中殿米山線の位置づけと整備の意義
- ③（都）米山公園の整備計画の見直し



1. 市民の命と財産を守るために為すべきこと（抜粋）

（1）浸水想定区域内にも避難所の設置を

＜質問＞昨年4月に改訂した防災マップにおける浸水シミュレーションに基づき、南部校区、北部校区、豊田校区、沖代校区、小楠校区、鶴居校区内の浸水被害が発生する公共施設には、避難所を設置しないという方針で対応がなされています。22,000世帯を超える市民が自宅の2階に垂直避難した場合の救護の困難さを鑑みれば、それらの校区にある3階以上の学校や公共施設を避難所として開設すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】現在、洪水などで浸水が想定される場合には、浸水想定区域内の避難所は開設しておりませんが、遠くの避難所への避難をためられる住民の方や、気付くのが遅くなり、逃げ遅れる方なども想定されます。

そこで、そのような方を緊急的に受け入れる場として、浸水想定区域内の小学校の利用を考えています。



冠水する一ツ松の道路

（2）広域避難ルート確保

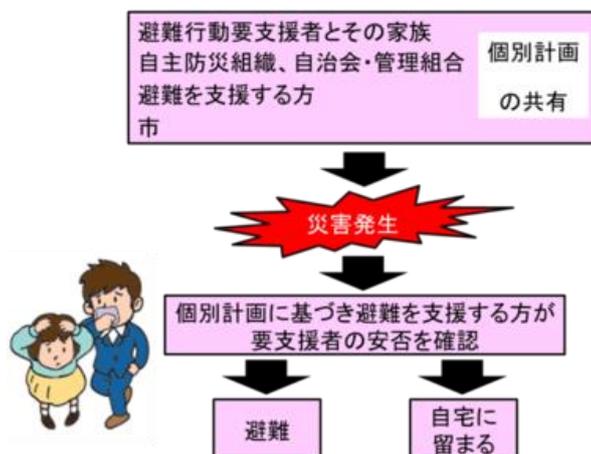
＜質問＞8月12日、午前8時以降に降り始めた豪雨によって、沖代校区を始め旧市内の道路（17路線）が冠水しました。当日、午前9時すぎには、深いところでは20cm以上に達し、車が水しぶきをあげて通過していました。今回冠水した道路を含めて、道路冠水予想マップを作成し、事前に市民へ周知すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】今回の道路冠水箇所は、豪雨を想定した「内水ハザードマップ」の浸水想定箇所と重なる部分が多くあります。そこで、冠水により市道を通行止めとする目安やこれまでの通行止め箇所等をホームページで公開するなど、市民への事前周知を図っていきたいと考えています。

（3）避難行動要支援者の命を守るために

〔情勢〕障がい者や高齢者などの災害時要支援者対策として、平成25年に災害対策基本法が改正され、「避難行動要支援者名簿を活用した実効性のある避難支援が実施されること」が定められています。

自主防災組織等による避難行動要支援者の避難を行うためには、要支援者個別支援計画が必要となります。個別支援計画の作成を自治会や自主防災組織だけに委ねても、なかなか進まない現状があります。



避難行動要支援者の避難の流れ

＜質問＞全国的には、ケアマネージャーや相談支援専門員が、平常時のサービス等利用計画を作成する際に「地震などが起きた際には、高齢者や障がい者がどのように避難するか」を定める「災害時ケアプラン」を一緒に作成する動きが広まってきています。

そこで、中津市においても個別支援計画の作成を迅速かつスムーズに行うために、このような取り組みをすべきと考えますが如何ですか。

【答弁】現実的に、自治会や自主防災組織だけに個別支援計画の作成を委ねるのは難しいと考えています。要支援者本人のことをよく知るケアマネージャーや相談支援員に協力をいただくことも検討しており、必要な予算についても、今後、確保に努めたいと思います。

(4) 命と財産を守るための建築制限

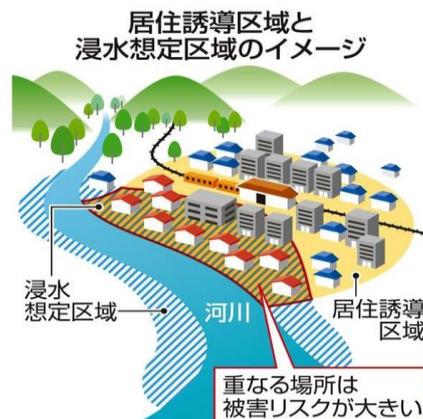
〔情勢〕8月の秋雨前線の停滞による大雨によって、全国の床上・床下浸水などの住宅被害は約4,450棟、全壊・半壊の被害は12棟に及んでいます。

日本には1,203万世帯(約4世帯に1世帯)が災害リスク地域(土砂災害警戒区域・津波浸水想定区域・浸水想定区域のいずれかの地域)に居住する状況にあると言われています。

＜質問＞災害リスク地域である家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水想定区域(3m以上)に新たな建物の建設を許容し続けることは、災害時の公的な対応・負担増だけでなく、将来世代に負の遺産への対応・負担増を強いることとなります。

今、都市政策として取り組むべき課題は、想定を超える災害から「命を守る」土地利用をコントロールする制度の構築です。

そこで、家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水想定区域(3m以上)を立地適正化計画による「居住誘導区域」から除外すべきと考えますが如何ですか。



【答弁】頻発・激甚化する自然災害に対応したまちづくりを推進するため、立地適正化計画に居住誘導区域内の防災対策を記載する「防災指針」の記載が位置づけられました。また、土砂災害警戒区域等の災害リスクの高い区域(災害レッドゾーン)については、居住誘導区域から原則除外することとなっています。

家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水想定区域については、原則除外対象の区域とはなっていませんが、今後計画を作成する中で、災害リスクの分析と災害の課題への対策を検討し、それらの区域の除外も含めて、コンパクトで安全なまちづくりを目指した居住誘導区域の設定を行いたいと考えています。

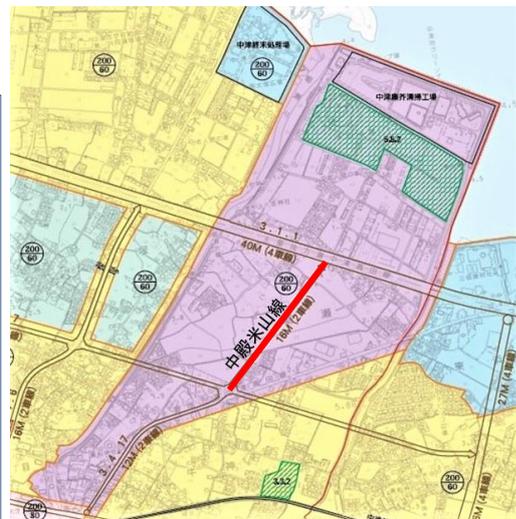
2. 蛸瀬地域の準工業地域の土地利用の促進に向けて

(1) (都) 中殿米山線の位置づけと整備の意義

＜質問＞中津市の都市計画用途地域では、蛸瀬川と自見川に挟まれた中殿から蛸瀬、米山地区に広がる約100haを準工業地域(紫色)に指定しています。

工業系の土地利用を誘導するためには、準工業地域に指定するだけが行政の仕事ではありません。そこに都市計画道路を中心に一定の街区を構成する道路網の整備が必要です。

限りある工業系用途地域であるこのエリアの土地利用を促進するために、早期に(都)中殿米山線の整備と道路網の整備に着手すべきと考えますが如何ですか。



中津市都市計画総括図

【答弁】中殿米山線は、都市計画道路網の交差点形状を改良するために計画した路線ですが、今後、中津市全体の都市計画道路の見直しにより役割が変更になる可能性があります。

また、整備の優先度についても、「中津市都市計画マスタープラン」等の中で優先的に整備を行う路線として計画しておらず、優先度は低いと考えています。加えて、中殿米山線周辺の地区については、生活道路の整備を計画的に行っており、地域住民の生活への影響を考えると、優先して整備を行う必要はないと考えています。

活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活 動 内 容
7月1日	(木)	米山公園大型複合遊具現地調査
7月2日	(金)	産業道路(豊前建具前)の安全対策を県に要望
7月5日	(月)	コロナウイルスワクチン接種(1回目)
7月6日	(火)	宇佐市外国人総合相談センター現地調査
7月9日	(金)	中津市労働者福祉協議会総会
7月11日	(日)	新大塚町自治会役員会
7月17日	(土)	地方自治研究大分県集会、木村記念美術館企画展「渡辺雲僊展」
7月18日	(日)	NPO法人なかつ耶馬渓活き域きネット研修会、新大塚地区防犯パトロール
7月21日	(水)	新大塚町夏休みラジオ体操(8/24まで)、米山公園「のびのびパーク」完成式
7月26日	(月)	コロナウイルスワクチン接種(2回目)
7月27日	(火)	北部校区地域福祉計画・活動計画作業部会
7月28日	(水)	中津市地方自治研究センター理事会&ミニ研、会派打合せ
7月30日	(金)	北部公民館臨時運営委員会
8月2日	(月)	佐伯市エコセンター番匠現地調査(ごみ発電)
8月5日	(木)	同級生と還暦登山(九重連山・星生山)
8月6日	(金)	会派打合せ、八社神社防犯カメラ設置立会い
8月7日	(土)	地元平成会8月例会、北部校区なぎさサロン役員会
8月8日	(日)	八社神社、老人憩いの家清掃活動
8月11日	(水)	初盆家庭お参り(12日まで)
8月12日	(木)	豪雨による浸水被害調査
8月16日	(月)	会派打合せ、宇佐市抗原検査センター現地調査
8月17日	(火)	9月議会一般質問通告書提出
8月20日	(金)	会派打合せ、ホームページリニューアルの打合せ
8月22日	(日)	新大塚町人権学習会
8月24日	(火)	9月議会招集告示、議案発送、一般質問執行部との打合せ
8月25日	(水)	代表質問執行部との打合せ
8月27日	(金)	県政市政対策会議、大分県主要農産物等種子条例制定を求める請願書提出
8月29日	(日)	農家民泊「みどりさん家」稲刈り体験
8月31日	(火)	9月議会開会日
9月2日	(木)	会派打合せ、(都)宮永角木線の現地調査
9月7日	(火)	代表質問
9月8日	(水)	一般質問(登壇)
9月9日	(木)	一般質問(2日目)
9月10日	(金)	一般質問(3日目)
9月11日	(土)	北部校区なぎさサロン役員会
9月12日	(日)	新大塚町自治会役員会
9月15日	(水)	議会議案質疑、会派打合せ
9月16日	(木)	教育産業建設委員会傍聴
9月17日	(金)	厚生環境委員会傍聴、会派打合せ
9月20日	(月)	なかはく企画展「西向くサムライ」
9月21日	(火)	総務企画消防委員会、厚生環境委員会と感染症対策医師との意見交換会傍聴
9月27日	(月)	自由討議、会派打合せ、厚生環境委員会協議会傍聴
9月28日	(火)	8月豪雨・台風9号被害現場の調査
9月29日	(水)	9月議会最終日、教育産業建設委員会と飲食業組合との意見交換会傍聴

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊ツイッターアカウントで検索して下さい。



新大塚町夏休みラジオ体操



のびのびパーク完成式



佐伯市エコセンター視察



農家民泊稲刈り体験



なかはく企画展



豪雨・台風被害現場の調査

編集後記(ひとりごと) 8月に3人目の孫が生まれました。コロナ禍で会うこともままならず、送られてくる写真や動画で孫の成長を楽しんでいます。コロナが収束し、自由に里帰りできる日々が早く戻ってくること願っています。(まさとし)